

令和4年度町政懇談会記録

- 1 会議の名称 令和4年度町政懇談会（小長井・平栗・洗富小幡区）
- 2 会議日時 令和5年1月12日（木）午後7時から午後8時23分まで
- 3 開催場所 川根本町文化会館
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 小長井・平栗・洗富小幡区 参加住民 14名
 - (2) 執行機関 町長 藺田靖邦、副町長 秋元伸哉、教育長 山下 斉
(出席課長) 情報政策課長 坂下、高齢者福祉課長 海老名、
建設課長 風間
(書記・庶務) 暮らし環境課補佐 中村、室長 神谷、健康福祉課室長 太田、
建設課室長 山本、総務課主幹 芹澤
- 5 内容
 - (1) 行政からの報告（町長・副町長・教育長）
 - ・これからの取組みと今後のまちづくりの方針
 - ・デジタル技術を活用した今後のまちづくりの方針
 - ・町の教育方針について
 - (2) 町民の皆さんとの意見交換
- 6 発言の内容
 - (1) 事前質問に対する回答等
なし
 - (2) 意見交換
 - (町民) デジタル化のことについて、小中学生には非常に良い環境で授業が出来ているが、町では圧倒的に多い高齢者に対してどうやって浸透させるか伺いたい。
 - (町長) 今回のクーポンで高齢者もスマホを活用していて非常に良いツールでした。今後、勉強会を開かなくても広まっていく方法を編み出し、もっと高齢者のへも広めていきたいと思えます。また、来年度から機

構改革でデジタル推進課を整備して、更にデジタル化を推進していきます。

(課長) 今年度から高齢者を対象にスマホ講習会を開催しています。来年度も引き続き実施予定なので、町民の方には活用していただき慣れて頂きたいと思います。

(教育長) 文化会館事業として「スマホで動画」という事業を実施しました。出来上がった作品は皆でホールで見ましたが、大変好評でした。

(住民) 消防団長を努めて5年経つが、最近は災害が多く発生している。9月の災害では甚大な被害を受け対応する中で、近年は自治会、自治体、消防団の連携が希薄になっていると感じる。消防団では年度初めに自治会とのつながりを大事にするように伝えているが、自治体からも自治会に連携について広めてほしい。

(町長) 消防団と地区の関係が希薄な一つの原因として、区長さん自体に消防団経験者が少ないということがあると思います。今回、私も連携が取れていない地域があると感じました。コロナ禍でもあり、一緒に話す機会も少ないと思いますが、今後は連携が取れるような機会を設けていきたいと思います。また、行政側からも区長連絡会などで消防団との連携について話したいと思います。

(町民) 川根高校についてですが、地元の子供がよその学校へ行き、よそから川根高校へ来ている。川根高校の魅力をもっと上げる必要があると思うがどう考えているか。

(町長) 川根高校は、町外からの生徒も増えている事は事実です。川根高校の存続により、この町に残ってくれる子供たちもいます。これも大事な町づくりの一つと考えています。川根高校は県立であるため県教育委員会の考えもありますが、学校を維持していきたいという事を原点に、独特な高校課程ができればいいと思っています。

(教育長) 今までは小学生と高校生の交流がありませんでしたが、これからは自然な形で交流できる機会を作りたいと考えています。また、高校生が企画した事業でも触れ合う機会を考えており、川根地域交流会というものを企画しているので、是非、川根高校生の魅力を地域や子供たちに発信出来るように努めたいと考えています。

(住民) 9月の災害の事で区長会でも話したが、役場からの連絡があり避難所を開ける連絡を区民にしたかったが、ページング放送が使用できなかった。道路愛護の時もそうだった。今回、命に関わることでもあるので管理をしっかりして欲しい。また、避難レベルによる具体的な行動を行政と自治会で共有することが大事だと思う。被災した今だからこそ言える意見を聞く場も設けて欲しい。

最近国道362号の開通の話が出なくなった。何年かかろうとしつこいくらいに要望して欲しい。道がよくなれば静岡に通勤できるし、人口減少にもつながる。この町が生きていくためにもインフラ整備に力を入れて欲しい。

(課長) かわねフォンでのページング放送の不具合については申し訳ありませんでした。使用できなかった理由の一つとして停電があり、停電が発生すると機器のリセットが必要になる場合があります。今回は土日と重なったこともあり対応が遅れてしまいました。今後迅速に対応できるよう努めていきます。

(町長) 災害の対応につきましては、今後、防災マニュアルの見直しを進めて行きたいと考えています。区長連絡会で防災に関する問題点を議題に入れ、皆さんと一緒に議論していきたいと思えます。

国道362号については首長同士の連携が大事です。是非、静岡市側の関係者からも全線二車線で工事が進むよう要望していきたいと思えます。閑蔵線についても同じです。道路の開通で本町もベットタウンになりうると考えます。とにかく今後も静岡市との連携を大事に進めていきたいと考えます。

(課長) 国道362号小長井～富士城間の未開通部分の延長は1.5km。その内トンネル1箇所、橋梁4箇所は既に完成しています。現在は橋梁の残りの1橋が工事中で、工事が順調に進めば2020年代中期ごろの開通予定となることを島田土木事務所から確認しています。

以上